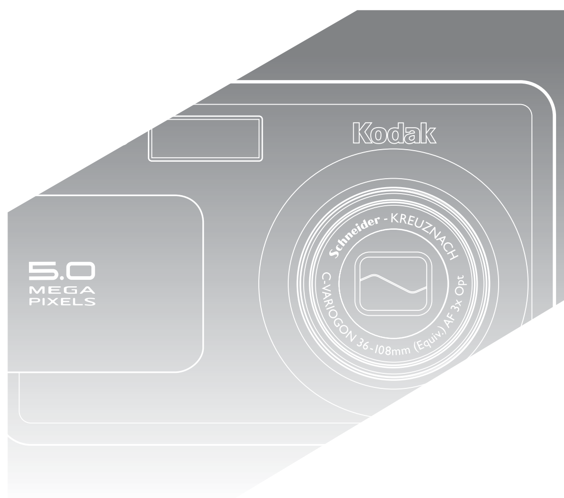
Kodak EasyShare LS755 ズームデジタルカメラ



ユーザーガイド

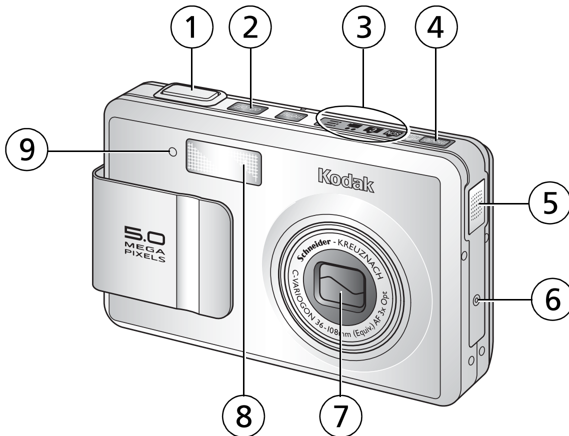
カメラに関するヘルプ：www.kodak.co.jp



Eastman Kodak Company
Rochester, New York 14650

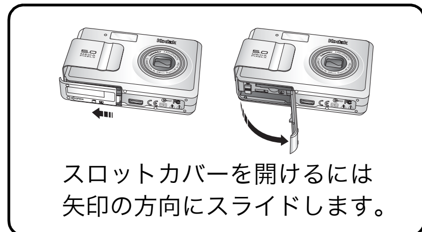
P/N 4J1473_ja

前面図

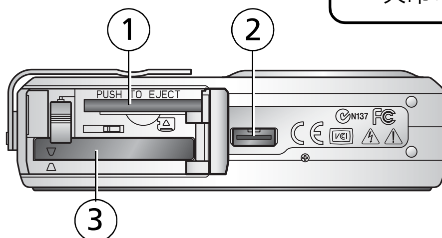


1 シャッターボタン
2 電源のオン／オフボタン
3 カメラモードインジケータ
4 Mode（モード）ボタン
5 スピーカー
6 マイクロフォン
7 レンズ／レンズカバー
8 フラッシュユニット
9 セルフタイマーライト

底面図（スロットカバーが開いている状態）

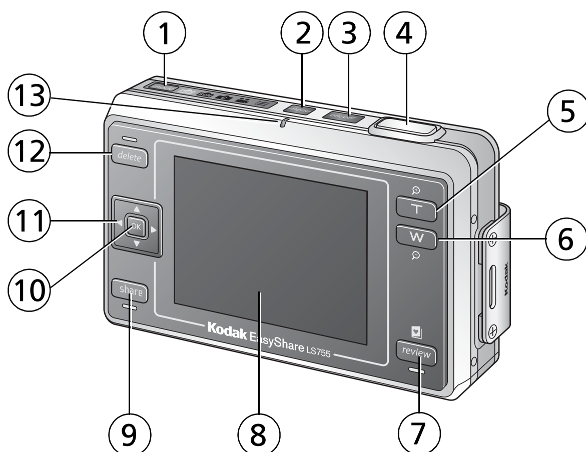


スロットカバーを開けるには
矢印の方向にスライドします。



1 カードスロット
2 ドックコネクタ
3 電池スロット

背面図

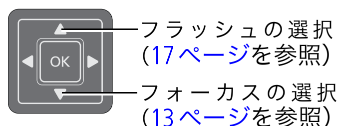


1 Mode（モード）ボタン
2 Menu（メニュー）ボタン
3 オン／オフボタン
4 シャッターボタン
5 ズームボタン T（望遠）
6 ズームボタン W（広角）
7 Review（再生）ボタン
8 液晶画面
9 Share（シェア／共有）ボタン
10 OK ボタン
11 ５ウェイコントローラ
12 Delete（消去）ボタン
13 レディライト

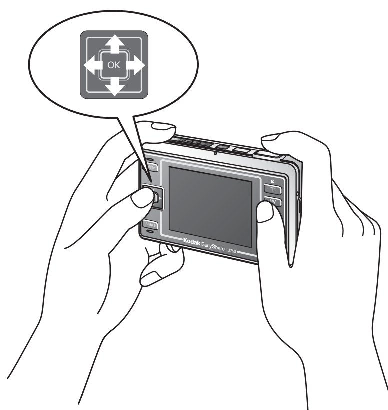
5 ウェイコントローラの使用方法

5 ウェイコントローラには、以下の 2 つの使い方があります。

メニュー操作をするときや、画像、動画のレビューでは、OK ボタンを ▲/▼ ◀/▶ マーク方向それぞれ上下左右に押して設定項目や設定値、画像や動画を選び、中央（OK）ボタンを押して決定します。



画像や動画の撮影時では、▲/▼は左図に示した機能を使うためのものとなります。◀/▶ には任意の設定機能を割り当てることができます（27 ページを参照）。



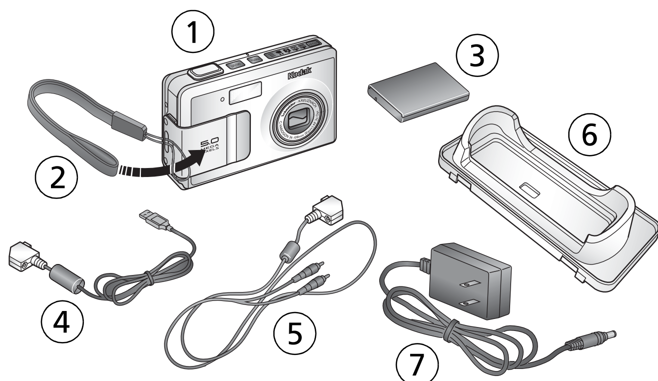
[重要]

上下左右を選択するときは、図のようにして、▲/▼ ◀/▶ 方向に OK ボタンを押してください。

目次

1 はじめに

パッケージの内容



1 カメラ
2 リストストラップ
3 リチウムイオン充電式電池
4 USB ケーブル
5 オーディオ／ビデオケーブル
6 専用ドックインサート
7 AC アダプター

図示していないもの：ユーザーガイド、クイックスタート ガイド、ウェルカムキット、Kodak EasyShare ソフトウェア CD。

内容は予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアのインストール

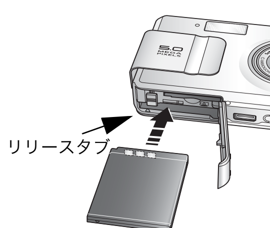
カメラ（または別売の Kodak EasyShare プリンタードック（PD-26）やフォトフレームドック）をコンピュータに接続する前に、Kodak EasyShare ソフトウェア CD からソフトウェアをインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。47 ページまたは『クイックスタートガイド』を 参照してください。

電池の装着

 **注意**：

Kodak リチウムイオン充電式電池（KLIC-7000）を図に示す向きに挿入します。これ以外の電池を使用するとカメラが損傷する恐れがあります。

電池を挿入したり取り出すときはカメラの電源を必ずオフにしてください。



1 スロットカバーを開きます。

2 図に示すように電池を挿入します。

3 スロットカバーを閉じます。

電池を取り外すには、リリースタブをスライドさせて電池を引き出します。

電池を長持ちさせる

Kodak リチウムイオン充電式電池（KLIC-7000）以外の電池は使用しないでください。Kodak 製以外のアクセサリーの使用による損害は、保証の対象外となります。

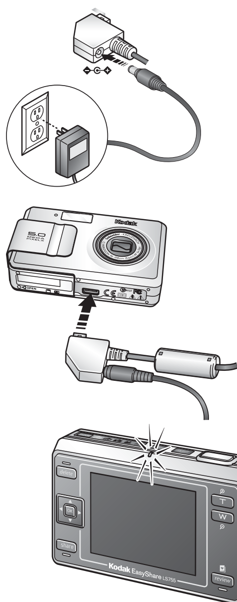
- 次の操作を行うと電池が著しく消耗します。必要な場合以外はこれらの操作を行わないようにしてください。
  - シャッターボタンを半分押した状態でズームを繰り返し使用する。
  - フラッシュを必要以上に使用する。
- 電池の接触部分に汚れがあると、電池の寿命に影響する場合があります。
- 気温が 5℃以下になると電池の効率が悪くなります。低温の場所でカメラを使う場合は、予備の電池を持参し、冷えないように保管してください。冷たくなって使用できなくなった電池は捨てないでください。室温に戻せば再び使用できる場合があります。

電池の安全な取り扱い

- 硬貨などの金属に電池が触れないようにします。電池の携帯時および保管時には、金属製のクリップや鍵などに触れないように注意してください。金属に触れると、ショート、放電、または漏電が発生したり、熱くなったりすることがあります。
- 不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダック守谷物流センターへお送りください。
  コダック株式会社守谷物流センターバッテリーリサイクル係
  〒302-0106 茨城県守谷市緑 2-27-1
  Tel：0297-45-6150

注： 間違ったタイプの電池と交換すると、爆発の危険があります。
使用済み電池を捨てるときは、取り扱い指示に従ってください。

電池の充電



1. AC アダプターの小さい方の先端部分を、USB ケーブルのカメラ側の DC 入力ジャックに差し込みます。
2. USB ケーブルのカメラ側の端をカメラのドックコネクタに差し込みます。
3. AC アダプターのもう一方の先端部分をコンセントに差し込みます。
   充電中はレディライトがオレンジで点滅します。
4. レディライトの点滅が終わり点灯状態になったら、USB ケーブルと電源コードを抜きます。

   充電は約 4 時間で完了します。

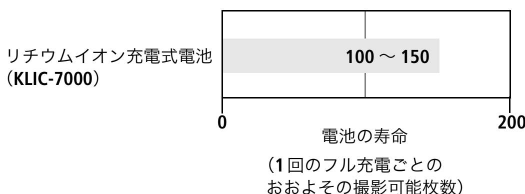
   電池の寿命については、4 ページを参照してください。

注： 別売の Kodak EasyShare プリンタードック（PD-26）またはフォトフレームドックを使用して、電池を充電することもできます。これらの製品やその他のアクセサリーは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

電池に関する重要な情報

電池の寿命

パッケージにはKodak リチウムイオン充電式電池（KLIC-7000）が同梱されています。実際の電池の寿命は、使い方によって異なる場合があります。



カメラの電源のオンとオフ



■ 電源をオンにする

オン／オフボタンを押します。
初めてカメラをオンにした場合は、「日付／時刻がリセットされています」というメッセージが表示されます。

■ 電源をオフにする

オン／オフボタンを押します。
実行中の操作がある場合はその操作が完了してからオフになります。

注： カメラの電源をオンにしたときにレンズが障害物に接触すると、レンズは引っ込みます。レンズが障害物に接触していないことを確認して、もう一度オン／オフボタンを押します。

日付と時刻の設定

日付と時刻の初期設定

初めてカメラの電源をオンにした場合や長期間にわたって電池を外していた場合は、**「日付／時刻がリセットされています」**というメッセージが表示されます。

1 ［日付／時刻の設定］が選択されます。OK ボタンを押します。日付と時刻を後で設定する場合は［やめる］を選択します。
2 次の「2 回目以降の日付と時刻の設定」の手順 4 に進みます。

2 回目以降の日付と時刻の設定

1 カメラの電源をオンにします。
2 Mode（モード）ボタンを押してカメラ設定モード をハイライト表示します。
3 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［日付／時刻］を選択し、OK ボタンを押します。
4 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して日付と時刻を調整します。次の設定に進むには OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押します。
5 設定が完了したら OK ボタンを押します。

注： コンピュータのオペレーティングシステムによっては、カメラを接続したときに、Kodak EasyShare ソフトウェアを使用してカメラの時計を更新できる場合があります。詳しくは、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

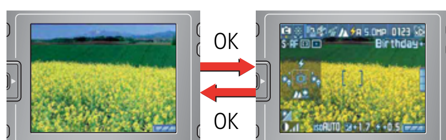
カメラの液晶画面に表示されるアイコン

カメラの電源をオンにすると、カメラの液晶画面にアイコンが表示されます。これらのアイコンは、現在有効なカメラ設定と画像設定や画像保管場所に関する情報を示します。

撮影およびレビューモードでは表示される情報は異なります。

撮影モードの画面

OK ボタンを押すと、アイコン表示モードのオン／オフが切り替わります。

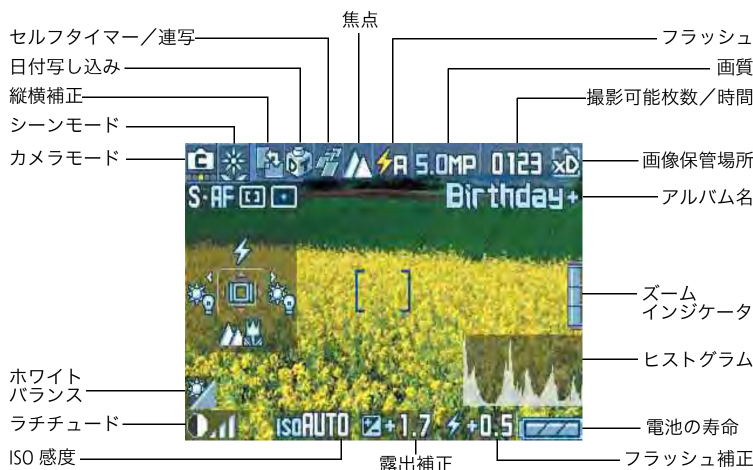


カスタムモードでは、OK ボタンを押すたびに、アイコン表示モード（オン）→ヒストグラム表示モード→アイコン表示モード（オフ）の順に切り替わります。



アイコン表示

現在有効なカメラの設定が表示されます。



注： ヒストグラムは被写体の明るさ分布を示すグラフです。グラフの中央部分にピークがある場合に、露出が最適になります。ピークが右側にある場合は被写体が明るすぎることを示します。逆にピークが左側にある場合は被写体が暗すぎることを示します。

レビューモードの画面

OK ボタンを押すたびに、アイコン表示モード（オン）→画像情報モード→アイコン表示モード（オフ）の順に切り替わります。



アイコン表示



 電池の寿命は十分にあります。

 電池の寿命が減っています。

 電池の寿命がまもなく切れます。
電池の充電または交換が必要です。

 電池が完全に切れています。
電池の充電または交換が必要です。

画像情報画面



xD-Picture Card™ への画像と動画の保管

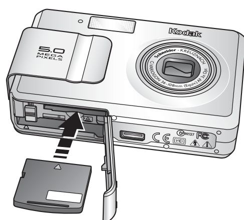
xD-Picture Card™ カードは、取り外しおよび再利用可能で、画像や動画の保管場所として使用することができます。

カメラには 16 MB の内蔵メモリーが搭載されています。画像や動画は xD-Picture Card™ がなくても内蔵メモリーに保管できますが、xD-Picture Card™ を使用した方が保管容量は多くなります。



注意：
カードは強く押し込まないでください。強く押し込むと、カメラまたはカードが損傷する恐れがあります。
レディライトの点滅中は、カードを挿入したり取り出したりしないでください。カード、カメラ、または画像が損傷する恐れがあります。

xD-Picture Card™ の使用



1 カメラの電源をオフにして、スロットカバーを開けます。
2 カードの向きをカメラの本体に記載された向きにします。
3 カードをスロットに押し込み、スロットカバーを閉じます。

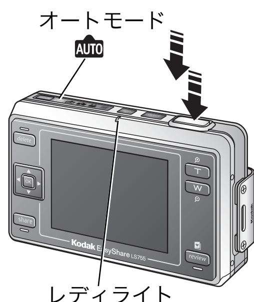
カードを取り外すには、カメラの電源をオフにします。カードを押し込んで一度指を離します。カードの一部が出てきたら引き出します。

注： 初めてカードを使用する場合は、撮影する前にカードをフォーマットしておくことをお勧めします（31 ページを参照）。

保存可能容量については、71 ページを参照してください。使用可能な xD-Picture Card™ の種類については、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

2 画像と動画の撮影

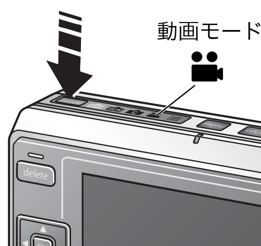
画像の撮影



1 カメラの液晶画面を使用して被写体を捉えます 。
2 シャッターボタンを**半分押した状態**で、露出と焦点を合わせます。
3 AF フレームが赤色の場合は、露出と焦点の設定が適切ではありません。手順 2 を繰り返してください。
4 AF フレーム（14 ページを参照）が緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。
5 レディライトが緑色で点滅して、画像が保存されます。ライトが緑色で点滅している間は、引き続き撮影することができます。レディライトが赤色の場合は、緑色で点滅するまで待ちます。

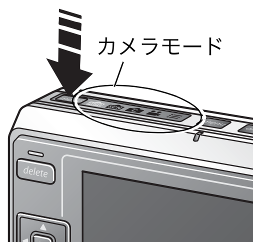
注： 出荷時設定撮影モードは、オート AUTO になっています。他の画像および動画モードについては、11 ページを参照してください。

動画の撮影



1 Mode（モード）ボタンを繰り返し押して [動画モード] をハイライト表示します。
2 カメラの液晶画面を使用して被写体を捉えます。
3 シャッターボタンを完全に押し下げてから離します。録画を停止するには、シャッターボタンをもう一度押して離します。
4 シャッターボタンを完全に押し下げ、2 秒以上押したままにして録画を開始することもできます。
5 一定の時間が経過したら自動的に録画を停止するように、カメラを設定することができます（28 ページを参照）。

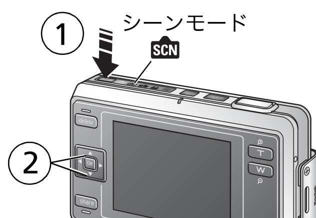
カメラモード



Mode（モード）ボタンを使用して、撮影条件に合うモードマークをハイライト表示します。

使用するモード	モードの説明
AUTO オート	通常の撮影に使用します。露出、焦点、およびフラッシュは自動的に設定されます。
SCN シーン	さまざまなシーンにあわせた設定で簡単に撮影できます（12 ページを参照）。
C カスタム	被写体や撮影条件に合わせて撮影設定を微調整するときに使用します（20 ページを参照）。
動画	音声付きの動画を撮影できます（10 ページを参照）。
設定	カメラの設定をカスタマイズします（29 ページを参照）。

シーンモード



1 Mode（モード）ボタンを押してシーンモード SCN をハイライト表示します。

2 OKボタンを▲/▼または◀/▶マーク方向に押して目的に合ったシーンモードを選択します。

使用するモード	モードの説明
ポートレート	人物のクローズアップ撮影に適しています(3 m 以内)。顔を明るくきれいに撮影するためにフラッシュを発光します。画像はソフトに仕上がります。
スポーツ	スポーツをしている人など、動きの速い人物の撮影に適しています。速いシャッター速度で動きに対応します。
遠景	遠景の撮影に適しています。遠距離にある山や建物などをシャープに撮影します。
夜景ポートレート	夜景をバックにした人物の撮影に適しています。人物に焦点を合わせると同時に、遅いシャッター速度でバックの夜景を美しく撮影します。安定した平らな場所にカメラを置いて手ぶれを防いでください。
夜景	遠距離の夜景の撮影に適しています。遅いシャッター速度で、ライトアップされた建物などをクリアに撮影します。安定した平らな場所にカメラを置いて手ぶれを防いでください。
スノー	雪をバックにした撮影に適しています。雪景色など明るい環境に合わせて調整します。
ビーチ	砂浜をバックにした撮影に適しています。砂浜など明るい環境に合わせて調整します。
書類	印刷された書類の撮影に適しています。

使用するモード	モードの説明
フラワー	花などの被写体のマクロ撮影に適しています。花の色を鮮明に再現します。
美術館	美術館など、フラッシュや操作音を禁止されている場所での撮影に適しています。音声とフラッシュは使用できません。
流し撮り（パンショット）	自動車など動きの速い被写体のスピード感を表現する場合に適しています。遅いシャッター速度を使用して、被写体を固定し、背景のみが動いて見えるように撮影します。
テレビ画面	テレビ画面の撮影に適しています。遅いシャッター速度を使用して、走査線が写らないようにします。安定した平らな場所にカメラを置いて手ぶれを防いでください。
キャンドルライト	キャンドルライトの下での撮影に適しています。ほのかな明かりの雰囲気を再現します。
サンセット	夕暮れ時の撮影に適しています。夕暮れを鮮明に再現します。
オークション	オークション品の撮影に適しています。被写体の細部まで鮮明に際立たせます。画像は VGA サイズで撮影されます。

フォーカス設定



被写体までの距離に合わせてフォーカス設定を選択することができます。マクロ撮影や、近い距離にある物に焦点を合わせずに背景を撮影する場合に設定します。

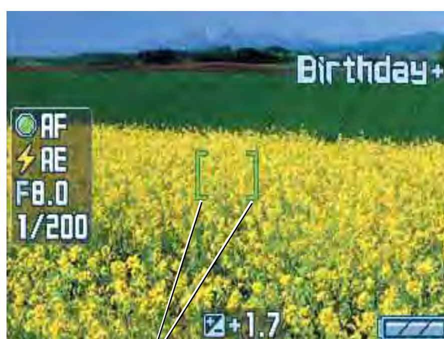
撮影時（シーンモードは除く）に OK ボタンを▼マーク方向に押すと、オート→マクロ→スーパーマクロ→無限遠の順で切り替わります。

フォーカス設定	詳細
オート	通常のオートフォーカス
マクロ	被写体とレンズの距離が、広角で 15 cm、望遠で 50 cm 離れている場合に焦点を調整します。
スーパーマクロ	被写体とレンズの距離が 5 cm の場合に焦点を調整します。レンズは自動的に広角に設定され、ズーム機能は無効になります。
無限遠	フォーカスは無限遠に設定され、近距離にある物はぼやけます。

AF フレームの使用

AF フレームはカメラの液晶画面に表示され焦点範囲を示します。

注： この手順は動画では使用できません。



AF フレーム

1 シャッターボタンを**半分押し下げます。**

被写体に焦点が合うと、AF フレームは青色から緑色に変わります。

注： 目的の被写体にカメラの焦点が合わない場合、AF フレームは赤色になります。シーンの構図をもう一度決めてから手順 1 を繰り返します。

2 シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。

注： フォーカスが無限遠に設定されている場合、AF フレームは表示されません。

撮影直後の画像と動画のレビュー（クイックビュー）

画像または動画を撮影した後、カメラの液晶画面にその画像または動画の最初のフレームが約 5 秒間表示されます。何も操作を行わない場合、その画像または動画は保存されます。画像が表示されている間に、次の操作を行うことができます。

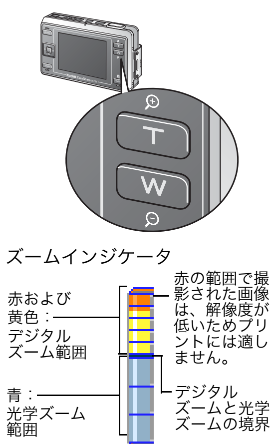


- **再生（動画）：**OK ボタンを ▼ マーク方向に押して［標準再生］を選択し、OK ボタンを押します。音量を調整するにはズームボタンを押します。
- **Share（シェア／共有）：**画像または動画の E メール送信、お気に入りへの追加、またはプリントの指定（タグ付け）を行うには Share（シェア／共有）ボタンを押します（48 ページを参照）。
- **Delete（消去）：**画像または動画と 🗑 が表示されているときに Delete（消去）ボタンを押します。

注： 連写の場合、クイックビューには最後の画像のみが表示されます。Delete（消去）ボタンを押すと、連写した一連の画像がすべて消去されます。画像を選択して消去するには、レビューモード（37 ページを参照）で消去します。

光学ズームの使用

光学ズームを使用すると、被写体を 3 倍まで拡大できます。光学ズームは動画の撮影中でも変更できます。



1 カメラの液晶画面を使用して被写体を捉えます。
2 拡大するにはズームボタン T（望遠）を押します。縮小するにはズームボタン W（広角）を押します。
3 カメラの液晶画面にズームインジケータが表示されます。ズームボタン T を押すとインジケータが上がり、ズームボタン W を押すと下がります。
4 画像または動画を撮影します。

デジタルズームの使用

デジタルズームを使用すると、任意の静止画モードで、光学ズームよりさらに拡大することができます。2 つのズーム設定を組み合わせた場合、3 倍から 15 倍まで拡大できます。

1 ズームボタン T（望遠）を押して、光学ズームの限界まで拡大します。
2 ボタンを離してからもう一度押します。

   カメラの液晶画面にズームされた画像とズームインジケータが表示されます。

重要： **デジタルズームを使用すると、プリント画質が低下する場合があります。画質が 10 × 15 cm のプリントで適切な画質を得られる限度に達すると、ズームインジケータ上の青色のスライダが一時停止し、次に赤色に変わります。**

3 通常どおりに画像を撮影します。

注： デジタルズームは動画の撮影中には使用できません。

フラッシュの使用

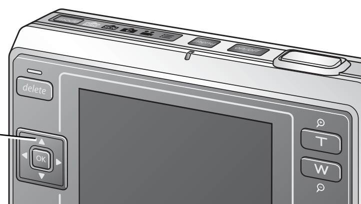
夜間、室内、または屋外の暗い場所で撮影する場合は、フラッシュを使います。

	フラッシュの範囲
広角	0.5～2.2 m
望遠	0.5～1.3 m

フラッシュをオンにする

フラッシュモードを変更するには、OK ボタンを ▲ マークの方向に押します。

有効なフラッシュアイコンは、カメラの液晶画面のステータス領域に表示されます。



フラッシュモード	フラッシュの発光
オート	フラッシュが必要なライティング条件（暗い環境、逆光の場合など）の場合に自動的に発光します。
オフ	発光しません。暗い環境の場合でもフラッシュはオフになります。カメラはしっかり構えてください。
赤目軽減発光	被写体の目がフラッシュに慣れるように一度発光し、撮影時にもう一度発光します。
強制発光	ライティング条件に関係なく、撮影するたびに必ず発光します。顔にかかった影をソフトに仕上げる場合などに使用します。
スローシンク赤目軽減発光	シャッター速度が遅いときに赤目軽減発光モードをオンにします。夜景をバックにした人物の撮影時に使用します（夜景ポートレートモードのみで使用可能）。カメラはしっかり構えてください。

各モードでのフラッシュの設定

撮影モード	デフォルトの設定	使用可能な設定
オート	オート発光 *	オート、オフ、 強制発光、赤目軽減発光
シーンモード		
ポートレート	**強制発光**	オート、オフ、 赤目軽減発光
スポーツ	オフ	強制発光
遠景	オフ	
夜景 ポートレート	スローシンク 赤目軽減発光	オフ
夜景	オフ	強制発光
スノー	オート	オート、オフ、 強制発光、赤目軽減発光
ビーチ	オート	
書類	オフ	強制発光
フラワー	オフ	
美術館	オフ	なし
流し撮り (パンショット)	オフ	強制発光
テレビ画面	オフ	なし
キャンドルライト	オフ	強制発光、赤目軽減発光

撮影モード	デフォルトの設定	使用可能な設定
サンセット	オフ	強制発光
オークション	オフ	オート、強制発光
動画	オフ	なし
連写	オフ	

* このモードで赤目軽減発光に変更した場合は、設定を変更するまで赤目軽減発光のままです。その他すべてのフラッシュの設定は、モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにしたときにデフォルト設定に戻ります。

ホワイトバランスのマニュアル設定

ホワイトバランスはカスタムモードでの撮影時にマニュアル設定することができます。

1 カスタムモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［ホワイトバランス］を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［マニュアル設定］を選択し、OK ボタンを押します。
ホワイトバランス画面が表示されます。

4 カメラの液晶画面いっぱいに白い紙を撮影します。

5 ホワイトバランス設定メニューで OK を選び、OK ボタンを押します。
撮影し直すには、［やり直し］を選択して OK ボタンを押します。
ホワイトバランス設定がカメラに記憶されます。

撮影設定の変更

撮影するときの設定を変更することができます。（モードによっては使用できない設定もあります）。

1 任意の撮影モードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して変更する設定を選択し、OK ボタンを押します。

3 設定値を選択して OK ボタンを押します。

- 終了するには、OK ボタンを ◀ マーク方向に押す、または Menu（メニュー）ボタンを押します。
- 前の画面に戻るには OK ボタンを ◀ マーク方向に押します。

設定	**アイコン**	**設定値／内容**
セルフタイマー 10 秒後に画像または動画が撮影されます。		**オン**または**オフ（出荷時設定）** 詳しくは、32 ページを参照してください。 連写モードでは使用できません。
デジタルズーム 使用するデジタルズームを選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**連続** — 光学ズームからデジタルズームへの移行時に一時停止しません。 **一時停止（出荷時設定）** — 光学ズームの限界まで達したらいったんズームボタンを離して、もう一度押すとデジタルズームが開始されます。 **なし** — デジタルズームは使用できません。

設定	アイコン	設定値／内容
連写 間隔の短い連続した画像を4枚（1秒間に約1コマ）まで撮影することができます。 **この設定は、モード変更、電源オフ、節電機能による画面オフで解除されます。**		オンまたはオフ（出荷時設定） **1** シャッターボタンを**半分押した状態**で、露出とホワイトバランスを合わせます。 **この状態で設定された露出、焦点、およびホワイトバランスが、すべての画像に適用されます。** **2** シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 **シャッターボタンを離すか、4 枚の画像が撮影されるか、保管場所がいっぱいになると撮影が停止します。** **連写モードでは、フラッシュとセルフタイマーは使用できません。** **ポートレート、夜景、夜景ポートレート、美術館、キャンドルライト、および動画モードでは使用できません。**

設定	アイコン	設定値／内容
画像サイズ 画素数を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**5.0MP（出荷時設定）**— 2592 × 1944 画素。A3 サイズ以下のプリントに適しています。 縦位置検出センサーが ON のときに縦に構えて撮影した場合（カメラが縦撮りと判断した場合）、5M モードでの記録画素数は、次のとおりです。 1920 × 2560 ピクセル **4.5MP（3:2）**— 2592 × 1728 画素。A4 サイズ以下のプリントに適しています。 **4.0MP** — 2288 × 1712 画素。A4 サイズ以下のプリントに適しています。 **3.1MP** — 2048 × 1536 画素。A4 サイズ以下のプリントに適しています。 **1.1MP** — 1280 × 960 画素。ポストカードサイズ以下のプリントに適しています。 **VGA**— 640 × 480 画素。E メールへの添付や Web ページへの掲載に適しています。 **240 × 320** — 240 × 320 画素。携帯電話への送信に適しています。
シーンのカスタマイズ カスタムモードで使用するシーンモードを選択します。	SCN	**なし（出荷時設定）、ポートレート、スポーツ、遠景、夜景ポートレート、夜景、スノー、ビーチ、書類、フラワー、美術館、流し撮り（パンショット）、テレビ画面、キャンドルライト、サンセット、オークション**

設定	アイコン	設定値／内容
ホワイトバランス ライティング条件を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***		**オート（出荷時設定）**— ホワイトバランスを自動的に補正します。一般的な撮影に適しています。 **ソフト** — ホワイトバランスを調整せずに光源のカラー構成を維持して、雰囲気のある画像を実現します（カスタムモードのみで使用可能）。 **昼光** — 明るい日光の下で撮影する場合に適しています。 **晴天日陰** — 日陰での撮影に適しています（カスタムモードのみで使用可能）。 **蛍光灯** — 蛍光灯の光で画像が緑がからないようにします。屋内の蛍光灯の下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **白熱灯** — 白熱灯の光で画像が赤みを帯びないようにします。屋内の白熱灯またはハロゲンライトの下でフラッシュを使わずに撮影する場合に適しています。 **マニュアル設定（M）**— ホワイトバランスをマニュアル設定します（カスタムモードのみで使用可能）。

* 設定保持（30 ページを参照）がオンの場合、これらの設定はカメラの電源をオフにしても保持されます。

設定	アイコン	設定値／内容
カラーモード 色調を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***		**ヴィヴィッドカラー** — 鮮明なカラーの画像を撮影します。 **ナチュラルカラー（出荷時設定）** — 自然なカラーの画像を撮影します。 **シックカラー** — 落ち着いたカラーの画像を撮影します。 **白黒** — 白黒の画像を撮影します。 **セピア** — セピアカラーの画像を撮影します。 Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、カラーの画像を白黒やセピアに変更することもできます。 動画モードでは使用できません。
ISO 感度 ISO 感度を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***	ISO	**オート（出荷時設定）、ISO 64、ISO 100、ISO 200** 暗い環境で手ぶれを防いで撮影する場合やフラッシュを使用しない場合は、ISO 設定を高くします。 ISO レベルを上げると画像のデジタルノイズが増えます。 動画、オート、およびシーンモードでは使用できません。
シャープネス 被写体の輪郭をどの程度はっきりさせるかを調整します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***		**シャープ —** 被写体の輪郭をくっきりさせます。シャープな画像にする場合に使用します。 **標準（出荷時設定）—** 被写体の輪郭を標準的な程度に調整します。 **ソフト —** 被写体の輪郭をソフトに調整します。人物の画像をソフトに仕上げる場合に使用します。 動画、オート、およびシーンモードでは使用できません。

* 設定保持（30 ページを参照）がオンの場合、これらの設定はカメラの電源をオフにしても保持されます。

設定	アイコン	設定値／内容
オートフォーカス カメラの焦点を合わせる領域を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。 ***		**マルチ AF（出荷時設定）**— 3 つの領域のうち、最適な領域に自動的に焦点を設定します。 **センター AF**— 撮影領域の中央を測定して焦点を設定します。 動画、オート、およびシーンモードでは使用できません。
測光方式 適切な露出を実現するためのライティング条件を測定する方法を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。 ***		**マルチ測光（出荷時設定）**— カメラの液晶画面全体のライティング条件を測定し、最適な露出に設定します。 **中央重点測光** — カメラの液晶画面の中央に重点を置くと同時に、画像全体に均一なライティング条件を測定します。 **スポット測光**— カメラの液晶画面の中央のみのライティング条件を測定します。 動画、オート、およびシーンモードでは使用できません。
ラチチュード コントラストを調整することによって、特定の条件での撮影時によりリアルな画像を実現できます。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**シャドー補正**— 影が濃い景色の撮影に適しています。暗い部分のグラデーションを鮮明にします。ライティング条件によってはハイライトが強調されます。 **ノーマル（出荷時設定）**— 標準的なライティング条件での撮影に適しています。 **ハイライト補正**— 光の強い明るい景色の撮影に適しています。明るい部分のグラデーションを鮮明にします。ライティング条件によっては影が強調されます。 動画、オート、およびシーンモードでは使用できません。

* 設定保持（30 ページを参照）がオンの場合、これらの設定はカメラの電源をオフにしても保持されます。

設定	アイコン	設定値／内容
フラッシュ補正 フラッシュの明るさを補正します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***		**-1.0、-0.7、-0.3、0.0（出荷時設定）、+0.3、+0.7、+1.0、MAX** ［MAX］を選択した場合、フラッシュはプレ発光による補正を行わずに最高レベルで発光します。 動画、オート、およびシーンモードでは使用できません。
AF コントロール オートフォーカスの方式を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。**		**コンティニュアス AF** — 撮影可能な間は、焦点を繰り返し調整します。 **シングル AF（出荷時設定）** — シャッターボタンを半分押したときに一度だけ焦点を合わせます。 オートおよびシーンモードでは使用できません。
露出補正 カメラに取り込む光の量を選択します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***		**カスタムモードの場合** — 0.0（出荷時設定）、± 0.3、± 0.7、± 1.0、± 1.3、± 1.7、± 2.0 **オートモードの場合** — 0.0、± 1.0、± 2.0 被写体の大部分が白い場合は、白い部分がグレーにならないように正の値を使用します。被写体の大部分が黒い場合は負の値を使用します。 逆光でフラッシュを使用しない場合は、正の値を設定すると被写体が影になるのを避けることができます。

* 設定保持（30 ページを参照）がオンの場合、これらの設定はカメラの電源をオフにしても保持されます。

設定	アイコン	設定値／内容
LeftRightボタン機能 ◀/▶ で使用する機能を設定します。 **この設定は、モードを変更するか、カメラの電源をオフにするまで有効です。***		**露出補正（出荷時設定）、フラッシュ補正、ホワイトバランス、ISO感度、ラチチュード** カスタムモードでのみ使用可能です。
画像保管場所 画像と動画の保管場所を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**オート ...（出荷時設定）**— カメラにカードが装着されている場合はカードを使用します。カードが装着されていない場合は内蔵メモリーを使用します。 **内蔵メモリー ...** — カードが装着されている場合でも常に内蔵メモリーを使用します。
アルバム設定 アルバムの名前を選択します。		画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択します。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。54ページを参照してください。
動画画質 画素数を選択します。 **この設定は、設定を変更するまで有効です。**		**VGA（出荷時設定）**— 動画は640 × 480ピクセルの大きさで撮影されます。 **QVGA** —動画は320 × 240ピクセルの大きさで撮影されます。 動画モードでのみ使用可能です。
録音 動画に音声を録音するかどうかを選択します。		**オン**または**オフ（出荷時設定）** 動画モードでのみ使用可能です。

* 設定保持（30ページを参照）がオンの場合、これらの設定はカメラの電源をオフにしても保持されます。

設定	アイコン	設定値／内容
手ぶれ補正 動画の撮影中の手ぶれ補正のオン／オフを選択します。		**オン（出荷時設定）**または**オフ** 動画モードでのみ使用可能です。
動画撮影時間 動画の撮影時間を選択します。		**連続（出荷時設定）** — カードまたは内蔵メモリーに余裕がある間撮影されます。 **5 秒、15 秒、30 秒。** 動画モードでのみ使用可能です。
インターバル撮影 一連の画像の連続動画を、各画像間に間隔を入れながら撮影します。 **この設定は、インターバル撮影モードを終了するとクリアされます。**		**オフ（出荷時設定）—** インターバル撮影モードをオフにします。 **オン —** 動画の撮影時にインターバル撮影モードをオンにします。 インターバル撮影モードの設定および使用方法について詳しくは、33 ページを参照してください。 **注：** 撮影間隔が 30 秒以上のインターバル撮影中に、Camera Dock 6000/Printer Dock に接続すると、電源がオフになります。

カメラのカスタマイズ

1 Mode（モード）ボタンを押して［カメラ設定］をハイライト表示します。

2 OKボタンを▲/▼マーク方向に押して変更する設定を選択し、OKボタンを押します。

3 設定値を選択してOKボタンを押します。

設定	アイコン	設定値／内容
クイックビュー 画像または動画の撮影後にクイックビューを表示するかどうかを設定します。		**オン（出荷時設定）** — 画像または動画を撮影すると、カメラの液晶画面にその画像または動画が約5秒間表示されます。 **オフ** — クイックビューを表示せずに画像や動画を保存します。
サウンド 電源を入れたとき、シャッターボタンを離したとき、セルフタイマーを設定したとき、および警告を通知するときに、音を再生するかどうかを選択します。		**オン（出荷時設定）** — シャッター音といくつかのサウンドテーマをオンにします。 **シャッターのみ** — シャッター音のみをオンにします。 **オフ** — すべてのサウンドをオフにします（警告のみオン）。
シャッターサウンド シャッターボタンを押したときに再生する音を選択します。		**サウンド1（出荷時設定）** **サウンド2**
システム音設定 音量を選択します。		**高** **中（出荷時設定）** **低**
LCD輝度 カメラの液晶画面の明るさを選択します。		**高** **中（出荷時設定）** **低**

設定	アイコン	設定値／内容
設定保持 カメラの電源をオフにした後もカメラ設定を保持するかどうかを設定します。		**オフ（出荷時設定）**— 前回カメラの電源をオフにしたときのモードにかかわらず、カメラの電源をオンにするとオートモードになります。 **オン** — カメラの電源をオンにすると、前回カメラの電源をオフにしたときの撮影モードになります。
縦横補正 上下が正しく表示されるように画像の向きを設定します。		**オン（出荷時設定）** **オフ** 縦位置検出センサーが ON のときに縦に構えて撮影した場合（カメラが縦撮りと判断した場合）、カードへの記録時間が長くなることがあります。 連写モード時の縦位置検出センサー設定は、強制 OFF になります。
モード説明 モードの変更時に、選択されたモードの説明を表示するかどうかを設定します。		**オフ** **オン（出荷時設定）**— 撮影モードの簡単な説明が約 3 秒間表示されます。
日付／時刻の設定 日付と時刻を設定します。		5 ページを参照してください。
日時表示形式 日付と時刻の表示形式を設定します。		**日付** — 日付の表示形式を選択します。 **時間** — 時間の表示形式を選択します。
日付写し込み 一度写し込んだ日付は消去できません。		**オフ（出荷時設定）** **日付** **日時**

設定	アイコン	設定値／内容
言語		使用する言語を選択します。
ビデオ出力 カメラ、テレビなどの外部の機器に接続できるように、地域の設定を選択します。		**NTSC（出荷時設定）** — 北米と日本で使用される最も一般的な形式です。 **PAL** — ヨーロッパと中国で使用されます。
フォトフレーム設定 カメラを Kodak EasyShare フォトフレームドックにセットしたときに使用可能なフォトフレーム機能を設定します。		44 ページを参照してください。
フォーマット **注：** フォーマットを行うと、保護されているものを含むすべての画像と動画が消去されます。フォーマット中にカードを取り出すと、カードが破損する場合があります。		**メモリーカード** — カードの内容をすべて消去し、カードをフォーマットします。 **終了（出荷時設定）** — 変更せずに終了します。 **内蔵メモリー** — 内蔵メモリーをフォーマットして、E メールアドレス、アルバム名、お気に入りを含む内容をすべて消去します。
カメラ情報 ...		カメラの情報を表示します。

セルフタイマーを使った撮影

セルフタイマーを使うと、シャッターボタンを押してから 10 秒後に画像または動画が撮影されます。

1 平らな場所にカメラを置きます。
2 任意の撮影モードで Menu（メニュー）ボタンを押します。
3 [セルフタイマー] を選択して OK ボタンを押します。
4 [オン] を選択して OK ボタンを押します。
5 シーンの構図を決めます。シャッターボタンを**半分押した状態で**露出と焦点をあわせます。その後で**完全に押し下げ**ます。自分がシーンに入るように移動します。

カメラ前部のセルフタイマーライトが 8 秒間ゆっくりと点滅し、さらに 2 秒間すばやく点滅してから撮影されます。撮影が終わるかモードを変更すると、セルフタイマーがオフになります。

セルフタイマーを使った動画の撮影

1 平らな場所にカメラを置きます。
2 Mode（モード）ボタンを押して、[動画モード] をハイライト表示し、Menu（メニュー）ボタンを押します。
3 [セルフタイマー] を選択して OK ボタンを押します。
4 [オン] を選択して OK ボタンを押します。
5 シーンの構図を決めて、シャッターボタンを完全に押し下げます。自分がシーンに入るように移動します。

動画撮影時間の出荷時設定は [連続] です。録画は、シャッターボタンを押すか、保管場所がいっぱいになると停止します。動画撮影時間を変更する方法については 28 ページを参照してください。撮影が終わるかモードを変更すると、セルフタイマーがオフになります。

インターバル撮影モードでの撮影

各画像間に間隔を入れながら一連の画像を撮影することができます。

1 Mode（モード）ボタンを押して［動画モード］をハイライト表示し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［インターバル撮影］を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを▼ マーク方向に押して［オン］を選択し、OK ボタンを押します。

4 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［オプション］を選択し、OK ボタンを押します。

撮影間隔 — 各画像間の間隔を設定します。

10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分、30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、または 24 時間

フレーム数 — 撮影する画像数を設定します。

［オート］を選択した場合は、1 つの動画の撮影にカードの全容量を使用します。ただし、最大 10,000 フレーム撮影したところで終了します。

［ユーザー設定］を選択した場合は、10 〜 最大 500 フレーム（10 フレーム単位で増減）の範囲で設定できます。

AE/AF/AWB ロック設定 — 露出、焦点、およびホワイトバランスの各設定を固定するかどうかを設定します。

［固定しない］を選択した場合は、画像ごとに露出、焦点、ホワイトバランスが自動的に調整されます。

［固定する］を選択した場合は、最初に撮影された画像に合わせて露出、焦点、ホワイトバランスが自動的に調整されます。その後撮影された画像にはこの設定が適用されます。

5 シーンの構図を決めてシャッターボタンを完全に押し下げ、インターバル撮影を開始します。

6 もう一度シャッターボタンを押して、インターバル撮影を終了します。

アルバム名の事前設定

アルバム設定（静止画または動画）機能を使うと、画像または動画を撮影する前にアルバム名を選択することができます。撮影したすべての画像または動画にそのアルバム名が指定（タグ付け）されます。

アルバム名を事前に作成しておくと、画像や動画をコンピュータに転送したときに、Kodak EasyShare ソフトウェアによって画像や動画が開かれ、適切なアルバムに分類されます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェア（V 4.0 以上）を使用して、コンピュータ上でアルバム名を作成します。次にカメラをコンピュータに接続したときに、最大 32 個のアルバム名をアルバム名のリストにコピーできます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 任意のモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［アルバム設定］ を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押してアルバム名を選択し、OK ボタンを押します。複数のアルバム名を選択するには、手順 3 を繰り返します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。アルバムの選択を解除するには、アルバム名を選択して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

4 ［終了］を選択して OK ボタンを押します。

選択した内容が保存されます。カメラの液晶画面をオンにしている場合は、アルバムの選択状況が画面に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、複数のアルバムが選択されていることを示します。

5 終了するには Menu（メニュー）ボタンを押します。

注： 画像を撮影してアルバム設定を行うと、1 つの画像につき 1 つの LID ファイルがカード内に自動的に生成されます。カメラからカードを抜いてコンピュータで画像を削除しても、LID ファイルは残りますが、ご使用に問題ありません（カードをフォーマットすると消去されます）。

3 画像と動画のレビュー

レビューモードとお気に入りモード

Review（再生）ボタンを押すと、撮影した画像や動画をレビューモードで表示することができます。

画像を表示および管理するには、撮影モードでReview（再生）ボタンを押します。動画を表示および管理するには、動画モードでReview（再生）ボタンを押します。

レビューモードでReview（再生）ボタンをもう一度押すと、お気に入りモードに切り替わります。お気に入りモードでは、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに保存した画像を表示および管理することができます。詳しくは51ページを参照してください。

レビュー中に電池を節約するには、別売のKodak EasyShare プリンタードック（PD-26）またはフォトフレームドックを使用してください（www.kodak.co.jpを参照）。

1つの画像や動画の表示

1 Review（再生）ボタンを押します。
2 画像または動画を前後にスクロールするにはOKボタンを◀/▶マーク方向に押します（スクロール速度を速くするにはOKボタンを◀/▶マーク方向に押したままにします）。
3 終了するにはReview（再生）ボタンを押します。

注： 3:2で撮影された画像は、3:2の縦横比で表示され、液晶画面の上部に黒いバーが表示されます。

複数の画像や動画の表示

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 OK ボタンを ▲ マーク方向に押します。

最大 9 枚のサムネールがインデックス表示で表示されます。

- 選択されているサムネールには枠が表示されます。
- OKボタンを ◀/▶ または▲/▼ マーク方向に押して画像を選択します。
- 10 枚以上の画像または動画ファイルがある場合は、画面上端または下端で OK ボタンを▲/▼ マーク方向に押すと、前または次のサムネールが表示されます。
- 選択した画像を表示するには OK ボタンを押します。

3 終了するには Review（再生）ボタンを押します。

動画の再生

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して動画を選択します （インデックス表示では、動画をハイライト表示して OK ボタンを押します）。

3 OK ボタンを ▼ マーク方向に押して ［標準再生］ を選択し、OK ボタンを押します。
動画の再生が開始されます。

- 音量を調整するにはズームボタンを押します。
- 動画を一時停止するには、再生中に OK ボタンを ▼ マーク方向に押します。
- 動画を巻き戻すには、再生中に OK ボタンを◀ マーク方向に押します。
- 動画を再び再生するには OK ボタンを押します。
- 前後の画像または動画を表示するには OK ボタンを◀/▶ マーク方向に押します。
- 動画再生を停止した後は、「動画再生」メニューが表示されます。

注： 過去に発売された弊社カメラにおいて撮影された画像は再生できない場合があります。ただし、インデックス表示は可能です。

動画の編集

1 再生中に OK ボタンを ▼ マーク方向に押して動画を一時停止します。

2 OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼ マーク方向に押して次のいずれかのオプションを選択し、OK ボタンを押します。

- 前消し：最初のフレームから一時停止した画面の前のフレームまでを消去します。手順 4 に進みます。
- 後消し：一時停止した画面の次のフレームから最後のフレームまでを消去します。手順 4 に進みます。
- 静止画作成：一時停止した画面のフレームを静止画として保存します。手順 5 に進みます。
- キャンセル：一時停止した画面に戻ります。

4 動画を保存するには、OK ボタンを▲/▼ マーク方向に押して［新規］または［上書き］を選択し、OK ボタンを押します。

5 静止画を作成するには、OK ボタンを▲/▼ マーク方向に押して［OK］を選択し、OK ボタンを押します。

画像と動画の消去

1 Review（再生）ボタンを押します。

2 OK ボタンを◀/▶ マーク方向に押して画像または動画を選択し（インデックス表示されている場合はいずれか 1 つの画像または動画を選択し）、Delete（消去）ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して次のオプションを選択し、OK ボタンを押します。

- この画像／この動画：表示されている画像または動画を消去します。
- 終了：［消去］画面を終了します。
- 全て ...：現在の保管場所からすべての画像と動画を消去します。

4 さらに画像または動画を消去する場合は、手順 2 から繰り返します。

注： 保護された画像と動画を消去することはできません。消去する前に保護を解除してください（39 ページを参照）。

画像の拡大表示

1 Review（再生）ボタンを押して画像を選択します。

2 拡大表示するにはズームボタンを押します。さらに拡大表示するには引き続きズームボタンを押します。元のサイズ（1 倍）で表示するには、OK ボタンを押します。
   - 画像の別の部分を表示するには OK ボタンを ▲/▼ または ◀/▶ マーク方向に押します。
   - 拡大表示を終了するには OK ボタンを押します。

3 レビューモードを終了するには Review（再生）ボタンを押します。

レビュー設定の変更

レビューモードで Menu（メニュー）ボタンを押すと、レビュー設定が表示されます。

	画像の保護（39 ページ）
	スライドショー（39 ページ）
	コピー（41 ページ）
	リサイズ（42 ページ）
	画像保管場所（27 ページ）

画像と動画の保護

1 Review（再生）ボタンを押し、画像または動画を選択します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［画像の保護］を選択し、OK ボタンを押します。

画像または動画が保護され、消去できなくなります。保護された画像または動画の横に画像の保護アイコンが表示されます。

4 保護を解除するには OK ボタンをもう一度押します。

5 終了するには Menu（メニュー）ボタンを押します。



注意：
内蔵メモリーまたは xD-Picture Card™ をフォーマットすると、保護されたものを含むすべての画像と動画が消去されます。内蔵メモリーをフォーマットすると、E メールアドレス、アルバム名、およびお気に入りも消去されます。それらを復元する方法については、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

スライドショーの実行

スライドショーを使用すると、複数の画像や動画をカメラの液晶画面に次から次へと表示することができます。テレビまたは他の外部装置でスライドショーを実行する方法については、40 ページを参照してください。電池を節約するために、AC アダプター（別売）を使用してください。

スライドショーの開始

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［スライドショー］を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［開始］を選択し、OK ボタンを押します。

各画像と動画は、撮影した順序で 1 回ずつ表示されます。

スライドショーを取り消すには OK ボタンを押します。

スライドショーの表示間隔の変更

各画像の表示間隔の出荷時設定は 5 秒間です。表示間隔は 60 秒まで増やすことができます。

1 ［スライドショー］メニューで OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［間隔］を選択し、OK ボタンを押します。

2 表示間隔を選択します。秒数をすばやくスクロールするには OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押したままにします。

3 OK ボタンを押します。

間隔の設定は、設定を変更するまで有効です。

スライドショーの繰り返し再生

［繰り返し］をオンにすると、スライドショーが何度も繰り返されます。

1 ［スライドショー］メニューで OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［繰り返し］を選択し、OK ボタンを押します。

2 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［オン］を選択し、OK ボタンを押します。

スライドショーは、OK ボタンを押すか、電池が切れるまで繰り返されます。

画像と動画のテレビでの表示

付属のオーディオ／ビデオケーブルを使用して、テレビ、コンピュータのモニター、またはビデオ入力のある任意の機器に画像と動画を表示することができます（テレビ画面上では、コンピュータのモニター上やプリント時よりも画質が低下する場合があります）。

1 ［ビデオ出力］の設定（NTSC または PAL）が正しいことを確認します（31 ページを参照）。

2 付属のオーディオ／ビデオケーブルを、カメラのドックコネクタ、およびテレビのビデオ入力ポート（黄色）とオーディオ入力ポート（白）に接続します。詳しくは、テレビの取扱説明書を参照してください。

3 画像と動画をテレビに表示します。

画像と動画のコピー

画像や動画をカードから内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーからカードにコピーすることができます。

コピーする前の確認事項

- カードがカメラに装着されていることを確認します。
- カメラの画像保管場所が、**コピー元**の場所に設定されていることを確認します。

画像または動画をコピーする方法

1 Review（再生）ボタンを押し、Menu（メニュー）ボタンを押します。

2 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［コピー］を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して次のオプションを選択します。
   - この画像／この動画：現在の画像または動画をコピーします。
   - 終了：Review（再生）メニューに戻ります。
   - 全て ...：すべての画像と動画を選択した保管場所から他の場所にコピーします。

4 OK ボタンを押します。
   - 画像と動画は移動ではなくコピーされます。コピーした後に画像と動画を元の場所から消去するには、それらを消去します（37 ページを参照）。
   - プリント、E メール、お気に入り、および保護設定用に行なった指定はコピーされません。画像または動画に保護の設定を適用する方法については、39 ページを参照してください。

画像のサイズの変更

画像のサイズは小さくすることができます。

注： サイズを小さくすると画質は低下します。

1 Review（再生）ボタンを押して、サイズを変更する画像を選択します。

2 Menu（メニュー）ボタンを押します。

3 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［リサイズ］を選択し、OK ボタンを押します。

4 OK ボタンを▲/▼マーク方向に変更するサイズを選択し、OK ボタンを押します。

［4.5MP（3:2）］、［4MP］、［3.1MP］、［1.1MP］、［VGA］、または［240 × 320］から選択します。選択できるのは元のサイズより小さいサイズのみです。各サイズについて詳しくは、22 ページ**を参照してください。**

［240 × 320］を選択した場合は、「240 × 320 へのサイズ変更」（43 ページ）**の指示に従ってください。**

5 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［新規］または［上書き］を選択し、OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

注： ［上書き］を選択した場合は、画像を元のサイズに戻すことはできなくなります。

6 OK ボタンを▲/▼マーク方向に押して［OK］を選択し、OK ボタンを押します。

240 × 320 へのサイズ変更

画像を回転する方法

1 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［回転］を選択し、OK ボタンを押します。

画像が時計回りに 90 度回転します。

2 OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して画像を目的の向きまで回転します。

3 OK ボタンを押します。

4 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［新規］または［上書き］を選択し、OK ボタンを押します。

確認画面が表示されます。画像を回転し直すには、［やり直し］を選択して手順 2 に戻ります。

5 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［OK］を選択し、OK ボタンを押します。

画像情報および動画情報の表示

1 Review（再生）ボタンを押し、OK ボタンを押します。

2 前後の画像または動画の情報を表示するに OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押します。

3 終了するには OK ボタンを押します。

4 Kodak フォトフレームドックの使用

カメラを Kodak EasyShare フォトフレームドック（別売）に接続すると、カメラをフォトフレームのようにして、保存されている画像をディスプレイすることができます。

1 カメラをフォトフレームドックにセットします。

2 フォトフレームドックの電源ケーブルをコンセントに差し込みます。

3 フォトフレームドックの Photo Frame（フォトフレーム）ボタンを押します。

注： カメラをフォトフレームドックに接続する方法、または電源ケーブルを接続する方法について詳しくは、フォトフレームドックのユーザーガイドを参照してください。

フォトフレーム表示設定

1 カメラの Mode（モード）ボタンを押して［カメラ設定］をハイライト表示します。

2 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［フォトフレーム設定］を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して変更するオプションを選択し、OK ボタンを押します。

表示間隔 — 設定された時間が経過すると画像が切り替わります。1 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、または 5 分に設定できます。

表示順序 — 表示する画像の順序を設定します。［シングル］を選択すると保存されているすべての画像が 1 回ずつ表示されます。［ループ］を選択すると繰り返し表示され、［ランダム］を選択するとランダムに表示されます。

表示方法 — 画像を表示するときにエフェクトを追加します。［標準］、［フェード］、［ブロック］、［ブラインド］、［真中→左右］、［左→右］、［右→左］、［真中→上下］、［上→下］、および［下→上］から選択できます。

時計表示 — 画像と一緒に時計を表示します。デジタル時計（大 / 小）、ランダムから選択できます。

表示画像 — オート、内蔵メモリー、お気に入りから選択できます。

実行時間 — フォトフレーム機能を実行する時間を設定します。設定された時間が経過すると、フォトフレームドックとカメラの電源はオフになります。0.5 〜 12 時間の範囲で設定できます。

4 Ok ボタンを ▲/▼ マーク方向に押してオプションを選択し、OK ボタンを押します。

5 Kodak EasyShare ソフトウェアのインストール

コンピュータのシステム必要条件

Windows OS

- Windows 98、98SE、ME、2000SP1、または XP
- Internet Explorer 5.01 以上
- 233 MHz 以上のプロセッサー
- 64 MB 以上の RAM（Windows 2000SP1、XP の場合は 128 MB 以上の RAM）
- 200 MB 以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- カラーモニター、800 × 600 ピクセル以上（16 ビットカラーまたは 24 ビットカラーを推奨）

Macintosh

- Power Mac G3、G4、G4 Cube、iMac、eMac、PowerBook G3、G4、または iBook コンピュータ
- Mac OS X 10.2.3 〜 10.2.8、または Mac OS 10.3
- Safari 1.0 以上
- 128 MB 以上の RAM
- 200 MB 以上のハードディスクの空き容量
- CD-ROM ドライブ
- USB ポート
- カラーモニター、1024 × 768 ピクセル以上（数千色または数百万色を推奨）

Kodak EasyShare ソフトウェアのインストール

 **注意**:



Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたは、別売の Kodak EasyShare プリンタードック (PD-26) やフォトフレームドックをコンピュータに接続する前にインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

1 コンピュータで開いているすべてのアプリケーション（ウイルス対策ソフトウェアを含む）を閉じます。

2 Kodak EasyShare ソフトウェア CD を CD-ROM ドライブに挿入します。

3 ソフトウェアをインストールします。

Windows OS — インストールウィンドウが表示されない場合は、［スタート］ボタンメニューの［ファイル名を指定して実行］をクリックし、「d:¥setup.exe」と入力します。**d** は CD-ROM ドライブのドライブ文字です。

Mac OS X — デスクトップの CD アイコンをダブルクリックし、インストールアイコンをクリックします。

4 画面の指示に従ってソフトウェアをインストールします。

Windows OS — アプリケーションを自動的にインストールする場合は、［標準］を選択します。インストールするアプリケーションを選択する場合は、［カスタム］を選択します。

Mac OS X — 画面の指示に従います。

注： ユーザー登録画面が表示されたら、登録を行ってください。この画面でカメラのユーザー登録もできます。ユーザー登録すると、ソフトウェアのアップグレード情報等が得られます。ユーザー登録を行うには、インターネットに接続されている必要があります。後で登録する場合は www.kodak.co.jp/go/register にアクセスしてください。

5 コンピュータを再起動します。ウイルス対策ソフトウェアをオフにした場合はオンに戻します。詳しくは、ウイルス対策ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に収録されているソフトウェアアプリケーションについての情報を参照するには、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

6 画像と動画の共有



Share（シェア／共有）ボタンを押して画像や動画を「指定」すると、コンピュータに転送して共有することができます。

コンピュータに転送した画像や動画を共有するには、次のオプションを使用します。

		画像	動画
	全て取り消し	✔	
	全てプリント指定	✔	
	プリント指定	✔	
	E メール指定	✔	✔
	お気に入り指定 コンピュータ上での整理とカメラでの共有に便利です	✔	✔
	アルバム	✔	

注： 指定は削除されるまでそのままです。指定された画像や動画をコピーしても、指定自体は**コピーされません。**連写では、クイックビュー時に最後の画像にのみ指定が行なえます。

プリントする画像の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。OKボタンを◀/▶マーク方向に押して画像を選択します。
2 OKボタンを▲/▼マーク方向に押して［プリント指定］を選択し、OKボタンを押します。
3 OKボタンを▲/▼マーク方向に押してプリント数（0～99）を選択します。0を選択すると、その画像の指定は削除されます。

   画面にプリントアイコンが表示されます。出荷時設定は1枚です。
4 OKボタンを▲/▼マーク方向に押して画像を選択します。プリント数をそのままにするか、OKボタンを▲/▼マーク方向に押して変更します。
5 OKボタンを押します。Share（シェア／共有）ボタンを押して終了します。

* 保管場所のすべての画像を指定するには、OKボタンを▲マーク方向に押して［全てプリント指定］を選択し、OKボタンを押してから、前述のようにプリント数を指定します。［全てプリント指定］はクイックビューでは使用できません。

保管場所内のすべての画像からプリント指定を削除するには、OKボタンを▲マーク方向に押して［全て取り消し］を選択し、OKボタンを押します。［全て取り消し］はクイックビューでは使用できません。

指定された画像のプリント

指定された画像をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShareソフトウェアのプリント画面が表示されます。プリントについては、Kodak EasyShareソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

コンピュータ、Kodak EasyShareプリンタードック（PD-26）、カードからのプリントについては、55ページを参照してください。

注： 10 × 15 cm のプリントで最高の画質を得るためには、カメラを［4.5 MP（3:2)］に設定します。22ページを参照してください。

E メールで送信する画像と動画の指定

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェアを使用して、コンピュータ上で E メール用のアドレス帳を作成します。最大 32 個の E メールアドレスをカメラの内蔵メモリーにコピーします。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

2. カメラでの画像や動画の指定

1 Share（シェア／共有）ボタンを押してから、OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して画像または動画を検索します。

2 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［E メール指定］を選択し、OK ボタンを押します。

3 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して E メールアドレスを選択し、OK ボタンを押します。

同じアドレスを使用して他の画像や動画を指定するには、OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押してスクロールします。追加する画像／動画が表示されたら OK ボタンを押します。

画像や動画を複数のアドレスに送信するには、アドレスごとに手順 3 を繰り返します。

選択したアルバムにはチェックマークが付きます。

選択を解除するには、チェックマークの付いたアドレスを選択して OK ボタンを押します。

4 すべての E メールアドレスの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

5 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［終了］を選択し、OK ボタンを押します。

画面に E メールアイコンが表示されます。

6 Share（シェア／共有）ボタンを押してメニューを終了します。

3. 転送および E メール

タグ付けされた画像や動画をコンピュータに転送すると、E メール画面が表示され、指定したアドレスに画像や動画を送信することができます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りの画像の指定

お気に入りの画像をカメラの内蔵メモリー内のお気に入り セクションに保存すると、友人や家族と共有することができます。お気に入りは、画像をコンピュータに転送した後にカメラに読み込まれます。お気に入りは約 100 万画素で、10 x 15 cm のプリントに適しています。

お気に入りの画像は次の 4 つの手順で簡単に共有できます。

1. 画像を撮影します。	
2. お気に入りとして画像を指定します。	1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して画像を選択します。 2 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［お気に入り指定］ を選択し、OK ボタンを押します。 **画面にお気に入りアイコン が表示されます。指定を削除するにはもう一度 OK ボタンを押します。** 3 終了するには Share（シェア／共有）ボタンを押します。 **注：** 4.5MP、4MP の画像をお気に入りに指定し、コンピュータでお気に入りに登録して再生すると、異常表示になります。

3. 画像をコンピュータに転送します。	**1** Kodak EasyShare ソフトウェア（V4.0 以上）をコンピュータにインストールしていない場合はインストールします （47 ページを参照）。 **2** USB ケーブル (1 ページを参照) または別売の Kodak EasyShare プリンタードック（PD-26）あるいはフォトフレームドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。 **初めて画像を転送する場合は、ソフトウェアウィザードが起動されます。ウィザードの指示に従い、よく確認して選択します。この操作によって、画像がコンピュータに転送されます。お気に入りは、カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションに読み込まれます。**
4. カメラでお気に入りを表示します。	**1** Review（再生）ボタンを押してレビューモードに切り替えてから、もう一度 Review（再生）ボタンを押します。 **2** OKボタンを ◀/▶ マーク方向に押してお気に入りをスクロールします。 お気に入りモードを終了するには Review（再生）ボタンを押します。カードまたはお気に入り以外の内蔵メモリーに保存されている画像や動画を表示するには、Review（再生）ボタンを押してレビューモードに切り替えます（35 ページを参照）。 **注：** コンピュータなどで作成したお気に入り画像はカメラで表示できないものがあります。その場合は、「画像を表示できません」と表示されます。

注： カメラに保管できるお気に入りの数には制限があります。Kodak EasyShare ソフトウェアの［カメラのお気に入り］を使用して、カメラのお気に入り セクションのサイズをカスタマイズします。詳しくは、ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

お気に入りのレビュー設定の変更

お気に入りモードで Menu（メニュー）ボタンを押すと、オプション設定が表示されます。

	スライドショー (39 ページ)		お気に入りの消去 (53 ページ)

注： お気に入りは、3:2 形式にトリミングされます。

カメラからすべてのお気に入りの消去

1 お気に入りモードで Menu（メニュー）ボタンを押します。
2 ［お気に入りの消去］を選択して OK ボタンを押します。

内蔵メモリーのお気に入りセクションに保管されているすべての画像が消去されます。お気に入りは、次回画像をコンピュータに転送したときに復元されます。

3 Menu（メニュー）ボタンを押してメニューを終了します。

お気に入りをカメラに転送しないようにする

1 Kodak EasyShare ソフトウェアを起動します。
2 ［マイコレクション］の［アルバム］タブをクリックして、お気に入りアルバムを選択します。
3 カメラの内蔵メモリーのお気に入りセクションで不要な画像を消去します。
4 USB ケーブル（1 ページを参照）または別売の Kodak EasyShare プリンタードック (PD-26) あるいはフォトフレームドックを使用して、カメラをコンピュータに接続します。

EasyShare ソフトウェアによって、カメラのお気に入りが消去されます。

お気に入りのプリントと E メールでの送信

カメラに保管されているフルサイズの画像の指定と同じ方法で、お気に入りをプリントおよび E メール用に指定することができます。

1 お気に入りモードで画像を選択して、Share（シェア／共有）ボタンを押します。
2 ［プリント指定］または［E メール指定］を選択し、OK ボタンを押します。

注： お気に入りは、10 × 15 cm のプリントに適しています。

画像および動画のアルバム設定

レビューモードでアルバム機能を使用すると、カメラ内の画像や動画のアルバム名を指定することができます。

1. コンピュータでの操作

Kodak EasyShare ソフトウェア（V 4.0 以上）を使用して、アルバム名を作成します。カメラの内蔵メモリーには最大 32 個のアルバム名をコピーすることができます。詳しくは、EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

2. カメラでの操作

1 Share（シェア／共有）ボタンを押します。
2 OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して画像または動画を選択します。
3 Menu（メニュー）ボタンを押します。
4 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押して［アルバム］を選択し、OK ボタンを押します。
5 Ok ボタンを ▲/▼ マーク方向に押してアルバムフォルダを選択し、OK ボタンを押します。

同じアルバムにさらに画像を追加するには、OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して画像をスクロールします。

追加する画像が選択されたら OK ボタンを押します。1 つの画像を複数のアルバムに追加する場合は、各アルバムについて手順 4 を繰り返します。

アルバム名は各画像の横に表示されます。アルバム名の後にプラス（+）記号が付いている場合は、その画像が複数のアルバムに含まれていることを示します。

アルバムの選択を解除するには、アルバム名を選択して OK ボタンを押します。すべてのアルバムの選択を解除するには、［指定の取り消し］を選択します。

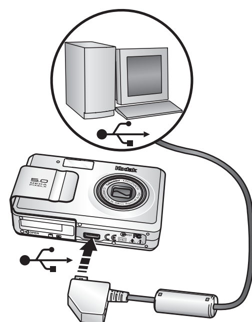
3. コンピュータへの転送

指定した（タグ付けされた）画像や動画をコンピュータに転送すると、Kodak EasyShare ソフトウェアで画像が表示され、適切なアルバムフォルダに分類されます。詳しくは、Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。

7 画像の転送およびプリント


注意：
Kodak EasyShare ソフトウェアは、カメラまたは、別売の KodakEasyShare プリンタードック(PD-26) やフォトフレームドックをコンピュータに接続する前にインストールしてください。接続してからインストールすると、ソフトウェアが正しくインストールされない場合があります。

USB ケーブルを使用した画像および動画の転送



1. カメラの電源ををオフにします。
2. USB ケーブルの という表示の付いた端をコンピュータの USB ポートに差し込みます。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を参照してください。
3. USB ケーブルのもう一方の端をカメラの USB ポートに差し込みます。
4. カメラの電源をオンにします。
5. Kodak EasyShare ソフトウェアがコンピュータ上で起動されます。画面の指示に従って画像および動画を転送します。

   転送中は緑色のレディライトが点滅します。

転送に使用可能なその他の製品

画像および動画の転送には、Kodak EasyShare プリンタードックなどの Kodak 製品も使用できます。

詳しくは、Kodak 製品取扱店または www.kodak.co.jp でご確認ください。

コンピュータに保存されている画像のプリント

コンピュータに保存されている画像をプリントする場合は、Kodak EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください。

Pict Bridge プリンターを使用したダイレクトプリント

このカメラは PictBridge テクノロジを採用しており、付属の USB ケーブルを使用してカメラを PictBridge プリンターに接続すれば、ダイレクトプリントが可能です。

注： PictBridge プリンターで直接印刷する場合、内蔵メモリにあるプリント指定された画像は、「指定した画像」で選択することはできません。内蔵メモリにある画像を印刷するときは、「現在の画像」または「全ての画像」を選択して行ってください。

プリント時は電池を節約するために、AC アダプターを使用してください。

プリンターへのカメラの接続

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。
2 USB ケーブルの•⇠という表示の付いた端をプリンターの USB ポートに差し込みます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。
3 USB ケーブルのもう一方の端をカメラの USB ポートに差し込みます。
4 **オプション：**AC アダプターを使用する場合は、アダプターの小さい方の先端部分を USB ケーブルのカメラ側の DC 入力ジャックに差し込み、アダプターのもう一方の先端部分をコンセントに差し込みます。詳しくは 2 ページを参照してください。

画像のプリント

1 プリンターの電源をオンにします。
2 カメラの電源をオンにしてから、Mode（モード）ボタンを押して［オート］AUTO をハイライト表示します。
PictBridge ロゴが表示された後、現在の画像とメニューが表示されます （画像が見つからない場合はそのことを知らせるメッセージが表示されます）。メニュー表示が消えた場合は、いずれかのボタンを押すと再び表示されます。

3 OK ボタンを ▲/▼ マーク方向に押してプリントオプションを選択し、OK ボタンを押します。

現在の画像 — OK ボタンを ◀/▶ マーク方向に押して画像を選択します。プリント数を選択します。

指定した画像 — お使いのプリンターがこの機能に対応している場合は、プリントする画像を指定して、プリントサイズを選択します。

インデックスプリント — すべての画像のサムネールをプリントします。インデックスプリントには、画像枚数に応じて用紙が複数枚必要になる場合があります。

全ての画像 — 内蔵メモリー、カード、またはお気に入りに保管されているすべての画像をプリントします。プリント数を選択します。

画像保存場所 — 内蔵メモリー、カード、またはお気に入りに保管されているすべての画像をプリントします。

注： ダイレクトプリントでは、画像はコンピュータまたはプリンターに転送および保存されません。画像をコンピュータに転送する方法については、55 ページを参照してください。

プリンターからのカメラの取り外し

1 カメラとプリンターの電源をオフにします。

2 カメラとプリンターから USB ケーブルを抜きます。

プリントのオンラインオーダー

Kodak オンラインフォトサービスでは、次のような処理を簡単に行うことができます。

- 画像のアップロード
- 画像の保管
- 家族や友人との画像の共有
- 画像のプリントオーダー

xD-Picture Card™（別売）に保存されている画像のプリント

- xD-Picture Card™ スロット付きのプリンターにカードを挿入して、画像を自動的にプリントすることもできます。詳しくは、プリンターの取扱説明書を参照してください。
- 最寄りの写真店にカードを持って行き、プリントをオーダーすることもできます。

コンピュータを使用せずにプリントする

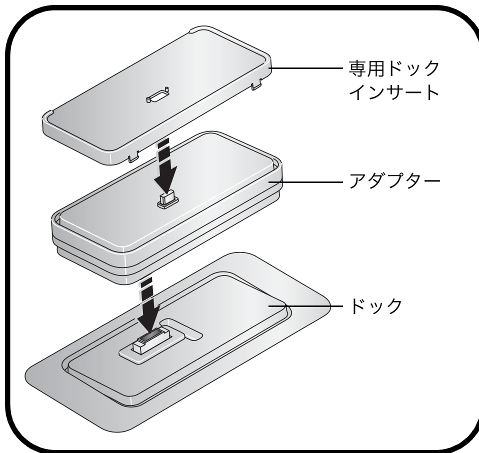
カメラを Kodak EasyShare プリンタードックに装着すれば、コンピュータを使用せずにプリントできます。Kodak EasyShare プリンタードックを使用すると、コンピュータの有無にかかわらずダイレクトプリントが可能です。詳しくは、www.kodak.co.jp でご確認ください。

USB ケーブルを使用してお使いのカメラを PictBridge 互換プリンターに接続すると、画像をプリントできます。

ドックの互換性

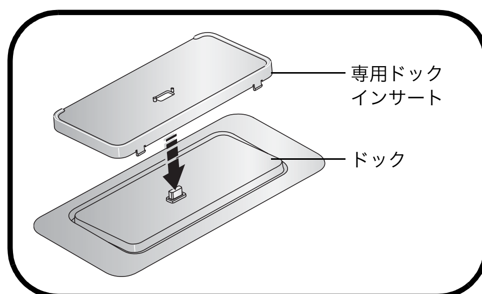
LS755 カメラを次の EasyShare 製品にセットする場合は、アダプターと専用ドックインサートを使用してください。

- **EasyShare** プリンタードック **(PD-22)**
- **EasyShare** プリンタードック **6000**
- **EasyShare** プリンタードックプラス
- **EasyShare** カメラドック **6000**



注： アダプター使用時はドックの充電ランプは点灯しませんが、充電は実行されます。

LS755 カメラを上記以外の EasyShare 製品にセットする場合は、専用ドックインサートを使用してください。アダプター**は使用しないでください。**



注： EasyShare LS755 カメラは次のドックには対応していません。

- **EasyShare** プリンタードック **4000**
- **EasyShare** カメラドック **II**
- **EasyShare LS420**、**LS443** カメラドック

8 トラブルシューティング（こんなときは？）

追加の技術情報は、Kodak EasyShare ソフトウェア CD 内の ReadMe ファイルに記載されています。最新のトラブルシューティング情報については、www.kodak.co.jp を参照してください。

カメラに関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
カメラが動作しない	カメラの電源がオンになっていません。 オン／オフボタンを押します。
	電池が切れています。電池を充電してください（3 ページ）。
カメラの電源がオンにならない	■ 電池を取り外して装着し直してください（2 ページ）。 ■ 電池を充電してください（3 ページ）。 ■ カメラをプリンタードックまたはフォトフレームドック（別売）に取り付けて、もう一度やり直してください。 ■ カメラを AC アダプターに接続して、もう一度やり直してください。 ■ スロットカバーが開いているとカメラの電源はオンになりません。
カメラの電源がオフにならず、レンズが引っ込まない	
カメラのボタンが機能しない	
カメラの液晶画面がオンにならない	カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。
レビューモードで、画像の代わりに青い画面または黒い画面が表示される	対象画像または**すべての**画像をコンピュータに転送してください（55 ページ）。転送後に内蔵メモリーまたはカードをフォーマットしてください。
画像を撮影しても残り枚数が減らない	そのまま撮影を続けてください。カメラは正常に動作しています。（残りの撮影可能枚数は画質と内容によって異なります。）

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像または動画を撮影できない	■ カメラの電源をいったんオフにしてからもう一度オンにしてください。 ■ シャッターボタンを完全に押し下げてください。 ■ 電池が切れています。電池を充電するか、新しい電池を挿入してください（3 ページ）。 ■ 画像をコンピュータに転送する（55 ページ）、カメラから画像を消去する（37 ページ）、保管場所を切り替える（27 ページ）、使用可能なメモリーカードを挿入する（9 ページ）のいずれかを実行してください。
画像の向きが正しくない	縦横補正を設定してください（30 ページ）。
フラッシュが発光しない	フラッシュの設定を確認して、必要な場合は変更してください（17 ページ）
電池の寿命がすぐに切れる	電池をフル充電するか、新しい電池を挿入してください（3 ページ）。
カメラにエラーコードが表示される	■ シャッターボタンを完全に押し下げてください。 ■ 電池が切れています。電池をフル充電してください（3 ページ）。 ■ 画像をコンピュータに転送する（55 ページ）、カメラから画像を消去する（37 ページ）、保管場所を切り替える（27 ページ）、使用可能なメモリーカードを挿入する（9 ページ）のいずれかを実行してください。 ■ コダックデジタルサポートセンターに連絡するか、www.kodak.co.jp を参照してください。

コンピュータ／接続に関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
カメラがコンピュータと通信しない	■ Kodak EasyShare ソフトウェアがインストールされていることを確認してください（47 ページ）。 ■ カメラの電源をオンにします。 ■ 電池を充電するか、新しい電池を挿入してください（2 ページ）。 ■ USB ケーブルがカメラとコンピュータの USB ポートにしっかりと接続されていることを確認してください（55 ページ）。 ■ コンピュータの別の USB ポートを使用してください。 ■ Kodak EasyShare ソフトウェアのヘルプを参照してください。
スライドショーが外部ビデオ装置で実行されない	■ カメラのビデオ出力設定を調節してください（NTSC または PAL、31 ページ）。 ■ 外部装置の設定が正しいことを確認してください（外部装置の取扱説明書を参照）。

画質に関して

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像が暗すぎるか、露出が不足している	■ 強制発光（17 ページ）を使用するか、被写体を後ろに光がない位置に移動してください。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください（17 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。フォーカスフレームが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ 露出補正の値を増やして（26 ページ）、もう一度やり直してください。

現象	解決方法（以下のいずれかの方法を試してください）
画像が明るすぎる	■ フラッシュをオフにしてください （17 ページ）。 ■ 被写体がフラッシュの有効範囲内に入るように移動してください （17 ページ）。 ■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。フォーカスフレームが緑色に変わったら、シャッターボタンを**完全に押し下げて**撮影します。 ■ 露出補正の値を減らして （26 ページ）、もう一度やり直してください。 ■ ビーチまたはスノーシーンモードになっているかを確認してください。
画像が鮮明でない	■ 露出と焦点を自動的に設定するには、シャッターボタンを**半分押した状態**にします。フォーカスフレームが緑色に変わったら、シャッターボタンをゆっくりと**完全に押し下げて**撮影します。 ■ レンズを拭いてください （71 ページ）。 ■ 被写体から 1 m 以上離れている場合は、カメラがマクロモードになっていないことを確認してください。 ■ 安定した平らな場所にカメラを置きます。

カメラのレディライトの表示状態

表示状態	原因
レディライトが緑色で点滅する	画像の処理中およびカメラへの保存中です。
	コンピュータへの画像の転送中です。カメラが接続されています。
	カメラが起動中または終了中です。
	カメラのファームウェアのアップグレード中です。



表示状態	原因
レディライトがオレンジ色で点灯している	カメラがお気に入りモードになっています。
レディライトがオレンジ色で点滅する	フラッシュの準備ができていません。そのままお待ちください。ライトの点滅が止まって消えたら、撮影を再開してください。
	自動露出またはオートフォーカスがロックされていません。一度シャッターボタンを離してやり直してください。
レディライトが赤色で点灯している	■ カメラの内蔵メモリーまたはカードがいっぱいです。 ■ 画像をコンピュータに転送する（55 ページ）、カメラから画像を消去する（37 ページ）、保管場所を切り替える（27 ページ）、使用可能なメモリーカードを挿入する（9 ページ）のいずれかを実行してください。
	カメラの処理メモリーがいっぱいです。そのままお待ちください。ライトが緑色に変わったら撮影を再開してください。
	カードが読み取り専用です。保管場所を内蔵メモリーに変更する（27 ページ）か、別のカードを使用してください。
	メモリーカードが低速です。このカードは録画には使用できません。 保管場所を内蔵メモリーに変更してください（27 ページ）。このカードは画像の撮影のみに使用してください。

レディライト

表示状態	原因
レディライトが赤色で点滅してカメラの電源がオフになる	電池が消耗しているか、切れています。電池を充電してください (3ページ)。

9 サポート情報

役に立つリンク集

カメラ

製品に関するサポート情報 （FAQ、トラブルシューティング情報など）	www.kodak.co.jp
最新のカメラ用ファームウェアと ソフトウェアのダウンロード	www.kodak.co.jp

ソフトウェア

EasyShare ソフトウェアに関する情報	www.kodak.co.jp （または EasyShare ソフトウェアの［ヘルプ］ボタンをクリックしてください）

その他

その他のカメラ、ソフトウェア、 アクセサリーなどに関するサポート情報	www.kodak.co.jp
Kodak EasyShare プリンタードックに関する情報	www.kodak.co.jp
カメラのユーザー登録	www.kodak.co.jp/go/register

電話によるカスタマーサポート

ソフトウェアまたはカメラの操作に関するご質問は、カスタマーサポート担当者にお問い合わせください。

電話をかける前に

カメラ、カメラドック、またはプリンタードックをコンピュータに接続しておいてください。次の情報を用意して、コンピュータのそばから電話をかけてください。

- コンピュータのモデル
- オペレーティングシステム
- プロセッサータイプおよび速度（MHz）
- メモリー容量（MB）
- ハードディスクの空き容量
- カメラのシリアル番号
- Kodak EasyShare ソフトウェアのバージョン
- 表示されたエラーメッセージ

オーストラリア	1800 147 701	オランダ	020 346 9372
オーストリア	0179 567 357	ニュージーランド	0800 440 786
ベルギー	02 713 14 45	ノルウェー	23 16 21 33
ブラジル	0800 150000	フィリピン	1 800 1 888 9600
カナダ	1 800 465 6325	ポルトガル	021 415 4125
中国	800 820 6027	シンガポール	800 6363 036
デンマーク	3 848 71 30	スペイン	91 749 76 53
アイルランド	01 407 3054	スウェーデン	08 587 704 21
フィンランド	0800 1 17056	スイス	01 838 53 51
フランス	01 55 1740 77	台湾	0800 096 868
ドイツ	069 5007 0035	タイ	001 800 631 0017
ギリシア	00800 441 25605	英国	0870 243 0270
香港	800 901 514	米国	1 800 235 6325
インド	91 22 617 5823	米国以外の地域	585 726 7260
イタリア	02 696 33452	国際有料電話番号	+44 131 458 6714
日本	03 5540 9002	国際有料ファックス番号	+44 131 458 6962
韓国	00798 631 0024		

最新の一覧については次のサイトをご覧ください。
http://www.kodak.com/US/en/digital/contacts/DAIInternationalContacts.shtml

10 付録

カメラの仕様

詳細な仕様については、www.kodak.co.jp を参照してください。

LS755 ズームデジタルカメラの仕様	
CCD	
CCD	1/2.5 タイプ CCD、縦横比 4:3
出力画像サイズ（画質モード）	5.0MP： 2592 × 1944 画素 4.5MP（3:2）： 2592 × 1728 画素 4.0MP： 2288 × 1712 画素 3.1MP： 2048 × 1536 画素 1.1MP： 1280 × 960 画素 VGA： 640 × 480 画素 240 × 320： 240 × 320 画素
表示	
液晶ディスプレイ	2.5インチ ハイブリッド LCD、 862 × 240（20.7 万）画素
プレビュー	フレーム速度：30 fps、視野率：100%
レンズ	
撮影レンズ	3 倍光学ズームレンズ、36 ～ 108 mm （35 mm フィルムカメラに相当）、F2.8 ～ 4.8
フォーカスシステム	オートフォーカス、TTL-AF、マルチ測光または中央重点測光が選択可能 静止画または動画撮影モードでシャッターボタンを半分押すとロックされる TTL-AF 操作範囲： 70 cm ～無限遠（広角の場合） 110 cm ～無限遠（望遠の場合） 15 ～ 70 cm（広角マクロの場合） 50 ～ 110 cm（望遠マクロの場合） 5 ～ 15 cm（スーパーマクロの場合、広角のみ） フォーカスは遠景モードで無限遠に設定されます。
デジタルズーム	1.0 ～ 5.0 倍

レンズカバー	カメラ内蔵
測光	
測光方式	TTL-AE
測光範囲	広角：EV 6.1 ～ 16.1、F2.8、2 秒～ F4.7、1/2000 秒 望遠：EV 7.6 ～ 17.6、F4.8、2 秒～ F8.0、1/2000 秒
露出モード	露出補正：± 2.0 EV（1/3 EV ステップ）
シャッタースピード	機械式シャッターも使用、1/2000 ～ 2 秒
ISO 感度	オート：64 ～ 100、マニュアル設定：64、100、200
フラッシュ	
フラッシュ	GN.6.0（ISO 100） オート発光 測光範囲（ISO 100）： 0.5 ～ 2.2 m（広角の場合） 0.5 ～ 1.3 m（望遠の場合）
フラッシュモード	オート発光、強制発光、赤目軽減、オフ、スローシンク
撮影	
撮影モード	オート、17 種類のシーンモード（ポートレート、スポーツ、遠景、夜景ポートレート、夜景、スノー、ビーチ、書類、フラワー、美術館、流し撮り（パンショット）、テレビ画面、キャンドルライト、サンセット、オークション、カスタム、動画）
5 ウェイコントローラ	カメラのモードの選択に使用
連写モード	最大 4 枚（1 コマ / 秒） 最初の撮影でのみ AE、AF、AWB を実行
動画撮影	画像サイズ：QVGA（320 × 240）、VGA（640 × 480）選択可能 フレーム速度：12.5 fps VGA、30 fps QVGA
画像のファイルフォーマット	静止画：EXIF 2.2（JPEG 圧縮）、DCF 動画：QuickTime（Motion JPEG）

画像保管場所	16 MB 内蔵メモリー xD-Picture Card™（別売）
レビュー	
クイックビュー	カメラ内臓
動画出力	NTSC または PAL
電源	
Kodak リチウムイオン充電式電池（KLIC-7000）5V AC アダプター	
電池使用時の撮影枚数	
電池	KLIC-7000
撮影可能枚数	約 150 枚（CIPA（カメラ映像機器工業会）規格に基づく）* *「CIPA DC-002-2003（デジタルカメラの電池寿命測定方法）」温度 23℃の環境、カメラの液晶画面をオン、30 秒ごとにズームレンズを広角と望遠に切り替え、2 回撮影するたびに最大フラッシュを使用、10 回撮影するたびにカメラの電源のオン／オフを切り替え
コンピュータとの通信	
USB 2.0（PTP）、USB ケーブルを使用、プリンタードックまたは フォトフレームドックで PTP を使用	
言語	
英語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／イタリア語／ ポルトガル語／中国語（簡体）／韓国語／日本語	
その他の機能	
セルフタイマー	10 秒
ホワイトバランス	オート、ソフト、昼光、白熱灯、蛍光灯、 晴天日陰、マニュアル
自動スリープモード	8 分
日付写し込み	なし、YYYYMMDD、MMDDYYYY、DDMMYYYY
三脚マウント	なし
サイズ	95 mm × 61.5 mm × 25 mm （幅×高さ×奥行き） 電源オフ時
重量（カメラのみ）	170.5 g（電池およびカードを装着していない場合）

ヒント、安全、メンテナンス

荒天時などでカメラ内部に水が入った場合は、カメラの電源をオフにし、バッテリーとカードを取り出してください。カメラを再び使用する前に、すべての部品を 24 時間以上乾かしてください。

レンズまたはカメラの液晶画面の埃や塵を軽く吹いて飛ばします。起毛のない柔らかい布か、化学処理されていないレンズ用ティッシュでそっと拭きます。クリーニング液を使用する場合は、カメラレンズ用のクリーニング液を使用してください。日焼けローションなどの薬品が塗布面につかないように注意してください。

国によってはサービス契約があります。詳しくは、Kodak 製品取扱店に問い合わせてください。

不要になった電池は一般のゴミと一緒に捨てないでください。販売店にお持ちいただくか、コダック守谷物流センターへお送りください。
コダック株式会社守谷物流センターバッテリーリサイクル係
〒 302-0106 茨城県守谷市緑 2-27-1
Tel：0297-45-6150

最大撮影可能枚数

下記の数値はおおよその値であり、ファイルサイズ、またはカードに他のファイルが含まれているかによって変わります。保管可能な画像／動画の枚数／時間は撮影状況によって異なります。

画質ごとの最大撮影可能枚数

画質	内蔵メモリー	xD-Picture Card™				
		16MB	32MB	64MB	128MB	256MB
5.0MP	10	12	24	49	98	197
4.5MP(3:2)	12	13	27	55	111	222
4.0MP	13	15	31	62	124	249
3.1MP	16	19	38	76	153	307
1.1MP	37	43	86	173	347	695
VGA	96	110	221	443	888	1776
240 × 320	173	199	399	799	1598	3198

注： お気に入りに画像を保管していると、内蔵メモリーの容量が少なくなります。

動画の最大撮影時間（秒）

動画画質	内蔵メモリー	xD-Picture Card™				
		16MB	32MB	64MB	128MB	256MB
VGA（音声なし）	18	21	42	86	172	345
VGA（音声なし）	18	21	43	87	174	350
QVGA（音声付き）	20	23	47	95	190	381
QVGA（音声なし）	21	24	48	96	193	387

注： お気に入りに動画を保管していると、内蔵メモリーの容量が少なくなります。

節電機能

操作しない時間	カメラの動作	オンに戻す方法
1分	画面がオフになります。	いずれかのボタンを押します。
8分	自動的に電源がオフになります。	オン／オフボタンを押します。

ソフトウェアとファームウェアのアップグレード

Kodak EasyShare ソフトウェア CD に添付されているソフトウェアとカメラのファームウェア（カメラ上で実行されているソフトウェア）の最新バージョンをダウンロードするには、www.kodak.co.jp を参照してください。

規格との適合

FCC 準拠および勧告

Kodak EasyShare LS755 ズームデジタルカメラ
テストの結果、FCC 規格に準拠していることを証明済み
家庭用または事務用

この装置はテストの結果、FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル装置の制限に準拠していることが証明されています。これらの制限は、住宅地区で使用した場合に、有害な電波干渉から適正に保護することを目的としています。

この装置は電波を発生、使用しており、放出する可能性があるため、説明書に従って設置または使用しないと、無線通信を妨害することがあります。ただし、特定の設置条件で電波干渉が起こらないという保証はありません。

この装置がラジオやテレビの受信を妨害している場合は（装置をオフ／オンにして調べます)、次の方法をいくつか試して、問題を修正することをお勧めします。1）受信アンテナの方向や位置を変える、2）装置と受信機の距離を離す、3）受信機を接続している回路とは別の回路の差し込みに装置を接続する、4）ラジオ／テレビの販売店か経験ある技術者に相談する。

準拠に関する責任当事者の明示的な承認なしに変更や修正を行うと、ユーザーは装置を操作する権利を喪失することがあります。製品、指定の追加部品、または製品の取り付けに使用される付属品と一緒にシールドインターフェイスケーブルが提供されている場合、FCC 規制に確実に準拠するためにはそれらを使用する必要があります。

カナダ通信局声明文

通信局クラス B 準拠 — このクラス B デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

Observation des normes-Class B — Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

VCCI Class B ITE

この装置は、情報処理装置等電場障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

Motion JPEG

消費者が個人的かつ非営利目的で使用する場合を除き、Motion JPEG ビジュアル規格に準拠した、いかなる方法でも本製品を使用することは禁止されています。

索引

れ

ろ